



公益財団法人大阪YWCA

2016年度（平成28年度）

（2016年4月1日～2017年3月31日）

事 業 報 告

はじめに

2016年度、大阪YWCAの事業・活動にご参加いただいた皆様、さまざまご支援、ご協力、ご寄付を寄せて下さった皆様、講師、ボランティア、会員、お心を寄せていただいたすべての皆様に心からの感謝を込めて、ご報告いたします。

今年度は、会館を共有する山西福祉記念会館の大規模改修があり、大阪YWCAの専有部分についても改修工事を行いました。期間中の騒音の大きい一時期は、近隣の扇町教会、東梅田教会などでお部屋を貸していただき、授業を行いました。最大限のご協力をいただき深く感謝いたします。また、学生、教員の皆様には長期間にわたって不自由をおかけし、心からお詫びを申しあげます。また、工事のための足場が組まれていたことから、毎年恒例のクリスマスバザーの実施についても心配がたえませんでした。それぞれの部署の工夫と、工事関係の方々のご協力も得て、無事に終了することができました。

専門学校日本語学科は、ベトナム、タイ、インドなど非漢字圏出身の学生が増え、カリキュラムや進学指導などにも新しい取組が必要となりました。今年度から新カリキュラムになった日本語教師養成講座はゼミ形式の授業を大幅に増加。分かりやすいと受講生の皆様にも好評をいただいています。講座部では、特別支援学校に通う女子生徒を対象としたソーシャル・スキル・トレーニングを、助成金を得て始めました。この事業は2017年度も更に規模を大きくして実施いたします。

帰国者支援事業は、日本語教育支援を中心に交流、地域支援、相談、普及啓発など多岐に渡る事業を行っています。医療通訳研修会では講師の一人として、大阪YWCA専門学校日本語学科の卒業生が東洋・西洋医学についての科目をご担当下さったり、千里でサポートをした帰国者家族2世が堺健老クラブで介護のお話をして下さるなど、これまでの関わりが新たな展開をうんだ1年でもありました。

社会貢献活動運営委員会は、年度後半からビジョン2020作成時に各部署で立てた活動計画の見直し作業を行いました。また、千里では財政を理解し、活動の未来を考えることをテーマに会員協議会を実施。定期会員集会の中でも、代表理事による特別プログラム「組織とファンドレイジング」を行いました。持続可能な財政を確立し、新しい動きを生みだしていくためにも、今後も継続して協議を進めていければと考えています。

創立100周年に向けては、YWCAの原点に立ち返るべく、若い女性のリーダーシップ養成事業プロジェクトが新たに立ち上がった他、各小委員会を中心に準備をすすめています。100周年というまたとない時を迎える準備を共できることは、大きな喜びです。ぜひ、一緒に盛り上げてゆければと願っております。

最後になりましたが、今後の歩みを強めていくためにも、皆さまの更なるご支援、ご指導のほどを、どうぞよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人大阪YWCA
総幹事・常務理事 中山 羊奈

目 的

キリスト教の基盤にたち、女性と青少年の力を集め、リーダーシップを養成し、すべての人にとっての正義・平和・健康・尊厳・自由・持続可能な環境を実現することを目的とする。

基 本 方 針

1. 非核・非暴力による平和の実現のために積極的に行動する
2. 多様性を認め合い、出会いの中で育ち合い、変革を担う人材を育成する

ビジョン 2020

大阪YWCAは、より良い社会の実現のために働く人を育て、女性のあらゆるライフステージの課題に包括的に取り組みます。

この10年は、「子ども・女性・非暴力による平和」をテーマに掲げて活動します。

YWCAが10年後に実現していきたい社会はこんな社会です。

<子ども>

★子どもたちが多様な人と出会い、ありのままを認めあえる場がある社会

★すべての子どもたちの将来へのチャンスが保障され、自律的に生きることのできる社会

<女性>

★すべての女性が、自分自身の生き方を決定し、力を発揮することのできる社会

<非暴力による平和>

★憲法の非武装・平和の精神があらゆる世代に浸透し、生活の中に根付いている社会

2016 年度標語

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

ローマ信徒への手紙 12 章 15 節

I. 教育事業

1. 専門学校事業

全日制日本語コースは今年も活況を呈した。モーニング会話クラスや午前中のみ受講生も含めると、春期は6クラス77名、秋期は7クラス95名で、ベトナム、タイなど非漢字圏からの学生が過半数を占めた。非漢字圏の学生向けの漢字クラスを、従来の週1回2クラスから週2回3クラス編成と3倍に増やして、日本語力の底上げに取り組んだ。

非漢字圏学生にとっては、大学の入学案内や募集要項を読み込んで情報を正しく取ることが難しく、願書、必要書類のチェックから学費払い込みの確認まで、教職員がほぼ付きっきりでサポートすることとなった。

イブニングコースは春期、秋期とも3クラスを開講。日本の企業で働いている外国人がほとんどだが、大学等で勉強している留学生も受講した。国籍は中国、韓国、タイ、ベトナム、インド、アメリカ、イギリス、ベナン、オーストラリア、インドネシアと多彩で、年齢も10代から60代まで幅広い層が在籍した。

能力試験準備コースは、能力試験の日程に合わせて、4月～7月、9月～12月の2期、N1クラスを開講した。

夏期集中コースは台湾の華梵大学から9名、修平科技大学から5名の学生が参加したほか、中国、香港、韓国、タイ、アメリカ、ベトナムから計30名が集まった。日本語のレッスン以外にもカードケース作りやフィギュア製作、ちぎり絵のうちわ製作などのオプションプログラムを楽しんだ。

プライベートレッスンでは企業からの依頼が多数あり、出張レッスンも多かった。

◇奨学金

今年度も日本学生支援機構、大阪YWCA奨学金、大阪YWCA留学生里親の会奨学金、鈴木保奨学金それぞれの選考及び支給を行った。故鈴木照代様のご遺族からは、多額のご寄付をいただき、鈴木保奨学金に増額することができた。10月22日に出店した千里ガレージセールでは、2名の留学生も一緒に参加し販売に協力してくれた。多くの方々のご協力、ご寄付により、奨学金を支給することができた。これからも、志高い勤勉な学生を一人でも多く経済的に支援していけるよう、努力を続けていきたい。

2. 日本語教師を養成する事業

(1) 日本語教師養成講座

2016年度はカリキュラムを刷新し、より日本語教育の現場に即した、実践力が身につく講座内容となった。基礎知識・理論の学習と演習・実習を並行して行うことにより、学んだ理論が実践に生きてくる事を体感できるようにした。また、平日夜の授業を6つのコースに分け、半年ずつ気軽に履修できる形に変えた。

新カリキュラムの導入により、2015年度以前の入学者は新旧両方の科目を受講することになり、少し混乱も見られた。事務局は、きめ細かく受講者をサポートした。

2016年度秋学期は、問い合わせは多数あったものの新規受講生が0という結果に終わった。スマートフォン用の見やすいWebページを制作したり、書店等、パンフレットを設置する場所を新規開拓するなど広報に努めた。

日本語教師養成講座は文化庁から新基準が示され、2017年度より420時間以上の研修としての詳細を届け出ることが必要になり、2017年4月に届出が受理された。

(2) 日本語教師会事業

日本語教師会は、地域の国際交流協会等での日本語ボランティア向け講習会や日本語教室への講師派遣を今年度も活発に行い、新たに(社福)枚方療育園の看護師対象の研修を担当した。(14件)。

大学等では、新たにトラベルジャーナル学園の日本語授業に講師を派遣した。また、昨年に引き続き、関西学院大学「日本語・日本文化学習プログラム」に講師を派遣し、流通科学大学で「留学生のための関西弁講座」を行った。

日本語コースでは、ビジネス日本語プロジェクトで開発した教材を使用し、今年度より「ビジネス日本語クラス」を開講した。また、クラス担当講師の育成研修として「ビジネス日本語クラスのための特別研修プログラム」を実施した。

教材開発では、Jリサーチ出版から「日本語能力試験N2文法必修パターン」を2月に出版、来年度は3冊の上梓を予定している。

大学の講師によるセミナーとしては「夏の日本語教育セミナー」を実施した。また、好評の「日本語教師のためのベトナム語セミナー」「日本語教師のためのイラストセミナー」の続編を実施したほか、大阪市立総合生涯学習センターと共催で「識字・日本語ボランティアのためのスキルアップ講座」(4年目)を行った。「日本語教育能力検定試験対策講座」「日本語初級/中級文型の教え方講座」を例年通り開催した。

研修会・研究会関係では、「文法・構文研究会」、大阪YWCAで初めて教える会員を対象にした「新人研修プログラム」を実施した。

3. 生涯学習の各種クラス・講座

韓国語講座は春期、秋期ともに初中級レベルから上級レベルまでの4クラス編成となった。各クラスとも継続受講生がほとんどである。特別レッスンとして春に「いきいき会話表現」をクラスにさきがけて開催した。出張授業としては、吹田市にある一般社団法人のシニア向けカルチャー教室の韓国語講座を昨年に引き続き担当した。

17年目をむかえた「子どもと子どもの本の講座」は、昨年と同様「子どもと本をつなぐ基礎コース」4ユニットと「図書館・学校ボランティアのブラッシュアップコース」2ユニットに分けて実施した。全ユニットを受講する熱心な参加者も多かった。山本淳子講師の「子どもとわらべ唄」は毎年人気が高く、昨年に引き続いての受講者も多数あり、満席となった。「児童文学を楽しむ特別講座」は昨年度と同じく11回開催した。いろいろな作品を取り上げているため、それぞれに熱心な受講生が多い。上田由美子講師の「ミリー・モリー・マンデー」や「クリスマスのおはなし」は特に盛況であった。以上のレギュラーコースに加え、今年は夏休みに大阪府教職員自主研修支援事業として「子どもと本をつなぐ講座」を開催した。子どもの発達にあった本の選び方など、川上博幸講師による丸1日の講座に、府内外から大勢の教職員の参加があり好評だった。

趣味の講座として、生誕300年で注目度の高い伊藤若冲の画業を学ぶセミナー「もっと知りたい！若冲さんのしごと」を開催した。

奥西峻介講師の協力により、様々な会を開催している。「奥西先生と映画を楽しむ会」は、5回実施、毎回楽しい会となっている。新たな取り組みとしては、10月から毎月「歩こう会」を発足。奈良などを訪れ、講師の解説を聞きながら散策する気軽な活動である。昨年度より始まった連続講座「人類の文化」は継続して開催している。

毎年恒例となりつつある美術鑑賞講座は、今年は会場を千里にして大久保恭子京都橋大学教授を迎えて開催した。俳句講座は高浜虚子の孫、松田美子講師を迎え、梅田と千里で交互に毎月行っている。日々の生活が心豊かになると好評である。また、これまで2回発行してきた句集『薫風』を十数年ぶりに発行した。

II. 平和・人権・環境等国内外の社会問題についての学習及び普及啓発と人材養成事業

1. 人材育成・研修事業

「ソーシャルワークセミナー」は、昨年度と同様、「傾聴力養成コース」と「支援力養成コース」の2コースを開催し、両コースとも熱心な受講者に恵まれた。特に、発達障がいをもつ子どもたちの理解と支援を学ぶ支援力養成コースには、当事者の家族のほか、学校、こども園などの現場をもつ人が多数参加してくれた。同じテーマで、今年も佐賀から臨床発達心理士の服巻智子を迎え、講演会「発達障がいをもつ子どもたちの成長、そして自立。～自閉症スペクトラムを中心に～」を開催した。

その他、公開講座として、「脳力UP！手話講座」、「ストレンクスファインダー<Basic>セミナー」、「インバスケット演習を活用した管理能力向上研修」、「アンガーマネジメント入門講座」などを実施した。「脳力UP！手話講座」は、震災等の際に活用したいという企業内のグループからの申し出があり、出前講座も行った。

また今年度は、大阪府府民文化部人権局より委託され、「人と人の豊かな関係づくり講座～わたしもOK、あなたもOK ハッピーライフのためのコミュニケーション術」と「コミュニティ・コーディネーター養成講座」をそれぞれ実施した。

その他、企業への研修プログラムの提供や、大宮保育園園児のための英語プログラムも行なった。

2. 平和・環境についての学習と啓発事業

「気軽に憲法について語れる場を」との思いから始まった憲法カフェを今年度も開催。6月の参議院選挙前には、朝日新聞の現役記者を囲んで、参加者が積極的に話し合い、実りのある会となった。2月には、上山勤弁護士との協力を得て、参加者とともに立憲主義、民主主義、憲法の基本について意見を交わした。

また、連続学習会「大人の社会科」を開催し、中国、朝鮮、ベトナム・ミャンマーの近現代史について学んだ。近隣のアジアであるが知らないことも多く、毎回とてもよい学びを得、まさに今だからこそ学びたい社会科となっている。3月定期会員集会後のプログラムでは、大人の社会科拡大版として「2時間でわかる朝鮮近現代史」と題し、講演会も実施した。その他、2016年4月より始まった電力自由化について、コープこうべ地位活動推進部の高橋智子氏をお招きし、電気のしくみや再生可能エネルギーなどについて学習会を開催した。選択する力を養

う機会となった。

ピースアクション2016「たべもの・いのち・ことば～未踏のピースアクションをめざして～」は、「自由と平和のための京大有志の会」の「声明書」作成の中心となった藤原辰史京都大学准教授を招き、「食」を切り口に、「自由」や「平和」、「言葉の持つ力」などについてお話いただき、平和への取り組みの新しい形を共に考えた。

3. 国際的な諸問題についての学習と啓発事業

パレスチナグループは、「りさ～ら」（アラビア語で「手紙」「伝言」）を発行。2月に開催されたワン・ワールド・フェスティバルで配布した。

4. 東日本大震災被災者支援

福島県在住の子どもたちを大阪に招く保養プログラム「大阪わいわいステイプログラム」は今回で10回目。申込開始後すぐに定員いっぱいとなり、ニーズの高さがうかがわれた。1日目は川遊びを企画していたが、天候が悪く、「海遊館」へ。大阪に向かう新幹線の中から行きたいところの一つとして名前があがっており、メンバーにとっても喜ばれた。子どもミニスクール、こども部の夏キャンプにも参加。大阪の子ども達と一緒に野外料理や理科実験などを行い、仲良くなっていた。昨年と比べてホームステイ先での宿泊が1泊多くなっていたので、負担が大きいのではと心配していたが、送迎でお会いするたびに親しさが増していく様子が見てとれた。きょうだいや友だち同士での参加が多かったが、固まることなく全体で仲良く過ごすことができた。

好評のチャリティーライブイベント「stand by you vol.5」は、おなじみの「雲州堂」を会場に2/25に開催。また、震災からちょうど6年目の3/11に大阪駅周辺で街頭募金を行った。

Ⅲ. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

1. 知的障がいをもつ女性の社会参加を促進する事業

(1) グループパレット（知的障がいをもつ女性たちのグループ活動）

1981年に「生活学校」として始まったグループパレットは2016年で35年を迎えた。知的ハンディキャップを持つメンバーが委員会に参加し、企画にも積極的に関わり、ボランティアと協働して誰もが自分らしくいられる場づくりを実践している。月1回の例会は室内や外出プログラムを実施し、充実したプログラムづくりを目指した。8月には家族の集いを開催し、交流を深めた。またバザーでは今年もパレットSHOPを出店し、メンバーらが製作した小物などを販売、バザーの働き人としても活躍した。今年度の一泊旅行は11月に高槻へ出かけ、温泉、バーベキュー、クラフトなどを楽しんだ。気心のしれたメンバー、ボランティアが毎月積極的にプログラムに参加している。

(2) ガールズSST（公益財団法人俱進会助成事業）

今年度、新たな取り組みとしてガールズSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）を実施した。特別支援学校高等部などに在籍し、卒業後就職を目指す女子生徒を対象に、コミュニケーション、マナー、薬育、模擬面接、就労体験実習（ルームメイク、ホール業務）、性のはなしなどを半日プログラム、合宿などを取り入れながら行った。12月には同窓会を兼ねたクリスマス会を開催。今後も学校や家庭以外でのサポートの場として、継続してプログラムを実施する予定である。

2. 視覚障がいをもつ人の社会参加を支援する事業

(1) むらさきつゆくさの会（視覚障がい者のための生け花の会とガイドヘルプ）

視覚障がい者のための生け花講座むらさきつゆくさの会は、中山文甫会のご協力のもと毎月1回開催している。14名の受講生と9名のボランティアが楽しく活動している。

(2) リーディンググループ

リーディンググループは、メンバーの減少で活動を継続することが難しくなったグループもあるが、依頼図書の声援や朗読を続けている。

(3) 点字子ども図書室

今年度も多くの児童書を点訳した。2016年度末現在の蔵書数は3,252タイトル、6,572冊を数える。例年通り、

統合教育を行う小中学校の算数・数学・理科の教科書の点訳も行っている。また、金蘭千里中学校・高等学校のボランティアクラブで、点字講習を行っている。35年間にわたる活動が認められ、大阪府社会福祉大会にて、ボランティア知事賞を受賞した。

3. 高齢者の社会参加を促進する事業

千里ボランティア委員会は、地域やシャロン千里内で様々なボランティア活動を展開している。隔月（奇数月）に実施している地域の高齢者を対象としたお楽しみプログラム付き昼食会「いこいの集いや、毎週木曜日に配食サービスのお弁当を作り届けることで、地域との交流の輪が広がっている。デイサービスにおける喫茶ボランティアシャロンカフェは利用者に大変喜ばれている。ケアハウス入居者に対するおしゃべりルームは参加者が積極的にかかわり、ボランティアとともに楽しみながらプログラムを作り上げている。井戸端カフェ茶話茶話は、シャロン千里につどう人たちのコミュニケーションの場として毎月2回玄関ロビーで開店。手作りのケーキとお茶、ボランティアとおしゃべりを楽しみに行っているケアハウス入居者にも定着している。ボランティア研修は中山羊奈総幹事をむかえボランティア「基本のキ」を10月に開催、自分達の活動をふりかえるよい機会となった。主催講座は3/25に西淀川子どもセンターの西川日奈子代表理事を迎え、「子どもの貧困を考える」を開催し、様々な課題を参加者とともに共有することができた。

4. DV被害女性の支援事業

「ステップハウスを支える会」は6月に年次レターNo.10を発行。会員数は現在39名。個人、企業からも多数の寄付をいただいている。

ステップハウスでは、入居についての問い合わせはあるものの、利用者数が減っており、今後のステップハウスの運営について協議を重ねているところである。

今年も恒例のクリスマス会を行った。この会は、近況報告の場であると同時に、元入居者たちの退居後のアフターケアの効果も果たしている。

グループ活動として、ジェンダー女子会を行った。主催講座のくれよん月例会「私らしく咲く～こころの発達を考える講座～」は内容変更したところ、応募多数となった。今年度は、乳児期から老年期までを取り上げ、女性の生涯における心理的発達について学びを深めた。

また3月には、夕陽丘基金助成金の交付をうけ、「DV被害者支援のための電話相談員養成講座」を開催した。大阪府共同募金会からの助成を昨年度に引き続きいただいた。

5. 中国残留邦人等への支援事業

(1) 近畿中国帰国者支援・交流センター（厚生労働省委託事業）

日本語教育支援事業として、通所課程を11コース17クラス、遠隔学習課程を1コース（ホームヘルパー受講準備コース）開講した。他にもキャリアアップ支援を目的とした資格取得対策、パソコンコースも引き続き開講した。これら通学学習課程に参加できない帰国者のためには、遠隔学習課程（通信教育）のスクーリングを実施した。遠隔学習課程のうち、「ホームヘルパー受講準備コース」は当センターが担当した。就職援助事業では、企業の人事経験者の協力を得て「就労面接練習」や、梅田ハローワークの協力のもと「ハローワーク求職体験実習」など就職活動に関する演習を行うと同時に、求職情報の提供も行った。また、地域交流事業としては、1世代対象に「朗朗（ランラン）クラブ」として太極拳、腰痛予防体操、いきいき体操、フラダンス、和洋裁などを実施した。また、社交ダンスコーナーでは毎週日曜日、受講生が自主的に運営した。

日本語学習に熱心に取り組んでいる通所生の中には、日本語能力の向上にともない、交流活動、ボランティア研修会、シンポジウムなどにおいて、ボランティア・支援者と接する機会も多くなり、受講生から「ボランティアをしてみたい」「地域活動に参加してみたい」という要望が出てくるようになり、数名の中国帰国者2世が自主的に地域支援者を訪問し、「田植え」、「地域まつり」などの地域活動に参加した。

今年度は、高齢帰国者のための中国帰国者の居場所（サロン）作りをするため、積極的にボランティアとの協働にも取り組んだ。日本語会話練習（傾聴会話交流）、パソコン指導、交流プログラムなどにおいては、ボランティアの協力もあり、以前より中国帰国者の多様なニーズに答えられる良い効果が得られた。このような状況において、「神戸学院大学」、「NPO法人劇団道化」の協力で実施したボランティア研修会、また、今年度初めて開催したシンポジウムは、新たな支援者やボランティアを得る良い機会となった。

地域支援事業として、9月に実施した各自治体職員対象の「近畿ブロック担当者連絡会議」では、24の自治体と厚生労働省から出席があり、支援状況に関する報告、活発な意見交換がなされた。また、地域生活支援推進事業ではブロック内の自治体、支援団体やNPOからの協力要請に応えサポートした。ボランティア、地域支援者、

他団体との交流、協働によって、今後の支援につながる多くのヒントを得る事ができた。相談事業は中国帰国者の年齢層も幅広く、相談内容も多岐にわたっているため、専門機関、行政機関とも連携しつつ対応した。

(2) 大阪市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

大阪市中国帰国者支援事業は、梅田教室での高齢者対象の日本語ゆっくりコースを4クラス、パソコンコースを2クラス、平野区内に日本語コースを2クラス開講した。日本人と交流しつつ日本語を学ぶ「会話実習」地域日本人と「餃子づくり」等の体験プログラムなども実施した。また、今年度から「平野朗朗クラブ」として平野区内で認知症予防や転倒予防を目的とした健康体操を実施した。自立支援通訳・自立指導員派遣事業は月約200回以上の派遣を行った。自立支援通訳や自立指導員を対象に「医療通訳者としての心得」や「ストレスマネジメント」をテーマとした研修会を開催した。平野区では「介護相談会」や「健康相談会」なども実施した。

(3) 門真市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

門真市中国帰国者支援事業では、門真市内の集住地域で毎週日曜日に日本語コース3クラスを開講した。地域交流バス旅行では三重県伊賀市の地域農家の協力のもと「野菜収穫」を楽しんだ。「朗朗門真」では高齢者を対象に「クラフト」「フラダンス」「健康体操」などのプログラムを月2回程度実施した。

(4) 京都市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

京都市中国帰国者支援事業では、宇治市内で毎週日曜日に日本語コース2クラスを開講した。地域日本人ボランティアの協力を得て臨場感ある日本語会話の練習も取り入れた。「朗朗京都」として高齢者を対象に「健康体操」や「クラフト」などのプログラムを月1回程度実施した。

(5) 宇治市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

宇治市中国帰国者支援事業では、毎週日曜日に日本語コース2クラスを開講した。地域日本人ボランティアの協力を得て臨場感ある日本語会話の練習も取り入れた。「朗朗京都」として高齢者を対象に「健康体操」や「クラフト」などのプログラムを月1回程度実施した。

(6) 近江八幡市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

近江八幡市中国帰国者支援事業は日本語コースを2クラス開講した。課外活動では「健康体操」「刺し子」「押し絵」を楽しんだ。受講生の高齢化に伴い教室に通えなくなる帰国者が多くなったため今年度をもって事業を終えることになった。

(7) 堺市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業（堺健老クラブ）

堺市中国帰国者支援事業は毎週木曜日に高齢帰国者を対象に3クラス開講した。3クラス合同で行う「課外授業」では、毎回地域の日本人ボランティアが多数参加して活発な会話実習や体験学習を行った。交流事業では、昨年に引き続き神戸学院大学を訪問した。大学生が実行委員会をつくって行き届いた受け入れ態勢のもと、充実した交流プログラムとなった。

(8) 大阪府中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

「医療通訳研修会」を全6回実施した。中国帰国者の高齢化を考慮し医療だけでなく、介護介護に関する知識も学べる研修会を実施した。また、医師を講師に迎え専門的なことも学んだ。

(9) 和歌山県中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

地域交流事業として和歌山県の帰国者が兵庫医療大学を訪問し、認知症予防、転倒予防について専門家から講義を受け、実際に体を動かしてみる等の体験をした。

IV. 青少年育成事業

1. 青少年活動

青少年部と国際部ハロハロワールドスクールを統合してこども部となって3年目を迎えた。「広げる世界 広がるわたし」をテーマにハロハロワールドスクールを2回、夏キャンプ、春キャンプ、親子プログラム、クリスマス会、そとあそプログラム2回を実施した。

リーダートレーニングは新規リーダー募集も兼ねて春に4回実施。内容は、「こどもとのコミュニケーション」、「キャンプの作り方」、「国際理解」、「レクリエーション」で、現役リーダーにも新規リーダーにも有意義な内容であった。また、夏キャンプ、春キャンプに向けてもリーダートレーニングを1回ずつ行った。

今年度は、すべてのプログラムをシャロン千里およびその周辺の施設で実施した。活動できるリーダーが少ないため、一人ひとりの負担が増えている。2017年度は昨年度に引き続き新規リーダー（特に学生リーダー）の募集と定着が課題。積極的に近隣の大学にアプローチしていく。

(1) 自然体験プログラム

夏キャンプのテーマは料理。「灼熱の料理人」と題してわくわくの郷（吹田市立自然体験交流センター）で、1泊2日の日程で実施。仲間と協力し合い、創造力を発揮することを目標に、料理中心の活動を計画した。年長から小学6年生までのメンバーが料理人となり、グループで協力して段ボールでピザ釜を組み立てるところから始め、生地をこね、思い思いの具材を乗せ、最後には世界で1枚のピザを作りあげた。今年度も東日本大震災被災者支援プログラムの福島の子どもたちも参加した。また今年は学生キャンプリーダーとして、4月の熊本地震で被災した熊本YWCAユースを迎えた。被災者でありながらも被災者支援をしている彼女たちを、息抜きも兼ねて派遣したいとの申し出が熊本YWCAからあった。活動を共にする中で、ユースから被災地の生の声を聞くことができ、こども部のリーダー達にとっても意義ある交流となった。

春キャンプは3月末に、同じくわくわくの郷にて1泊2日の日程で実施。「コンコンきつねのコンセンサス」と題し、メンバー間でコミュニケーションをうまく図り、自分たちで合意形成する力を身につけてもらおうと企画した。キャンプ中に仮装大会を企画し、その実行を通じて楽しく遊びながらコミュニケーション能力を高めた。

2015年度から始めた半日のデイプログラム「そとあそプログラム」は5月と1月に実施。5月は「スズメのお宿はどこじゃろな」と題し、ポイント巡りを通してクイズへの回答や自然散策、俳句作りを楽しんだ。1月末には「じゃくにくきょうしょくおにごっこ」を同じく千里北公園で実施した。

9月には、親子プログラム「甘味博士とマクロビオティックの世界」を実施した。前半は、親子でオートミールクッキーと豆乳プリンを作った。後半、こども達は甘味博士になるべく甘味当てクイズで遊びながら甘味の体験をした。保護者は講師を囲む座談会形式で体に優しい甘味について学んだ。

12月には「クリスマス会～クリスマスソングをつくるの巻～」を実施。鍵盤ミュージシャンをゲストに迎え、グループに分かれてオリジナルクリスマスソングを考えた。自分たちで作った歌を歌う貴重な体験をした。プレゼント交換も大いに盛り上がった。

(2) 小中学生のための異文化理解プログラム

国際理解プログラム「ハロハロワールドスクール」は、6月と11月に実施。6月は「とびだせ！！ハロハロ探検隊 in 鶴橋 2016」と題して、「ごちゃまぜ」文化の現場を五感で体験することを目的に、グループごとに、珍しい食べ物、文字、音、におい、味などを探し、それについてお店の人などに質問し、ビンゴゲームを進めていく形をとった。11月は「Where is she from?」と題し、留学生をゲストに迎え、オーストラリアの食べ物やスポーツについて教わりながら楽しく異文化体験をした。

(3) 子どもミニスクール

「子どもミニスクール」は、夏休みに2日間開講。外部講師や会員の協力を得て様々なプログラムを提供している。社会科、クッキング、ストーリーテリング、ネイティブ講師と楽しむ英語のほか、今年度は松山YWCAの協力を得、ポンポン蒸気船を作成した。また大阪わいわいステイで来阪していた福島の子どもたちも加わり、賑やかなプログラムとなった。

2. 子ども図書室事業

毎週水・金曜に子ども図書室を開館。月2回の「ちゅうりっぷくらぶ」では親子でわらべうたや絵本を楽しむばかりでなく、お母さん同士のつながりや図書スタッフとの信頼関係もでき、図書室の利用者も増えている。7月には「夏休み子どもおはなし会」を実施、多くの子ども達やケアハウス入居者でにぎわった。大人を対象にしたものとしては5月、12月、2月に「大人のためのおはなし会」を実施し、好評であった。また6月には、「YWCAライブラリースクール～ワンダ・ガアグさんのこと～」を2回実施し、その興味深い内容が大変喜ばれた。メンバーは、月3回の勉強会で子どもの本やストーリー・テリングについて学び、保育園、幼稚園、小学校、図書館でのおはなし会を担当し、講座の講師としても関わっている。地域においては、藤白台小学校（年1回）、北千里保育園（月1回）、青山台小学校（ひまわり学級で9月より月1回）などでおはなし会を開いた。また、2007年福音館より出版の絵本『いちじくにんじん』は好評につき今年も版を重ねた。

3. 子育て支援事業

(1) 梅田

子育て支援プログラムはあみあみカフェを月1回、あみものだけでなく料理交流なども行い、世代を超えた交わり
の場となっている。

(2) 千里

千里子育て支援委員会は、シャロン千里こども館、千里子ども図書室・ちゅうりっぷくらぶと協力・連携しお
やこひろばを中心に活動を展開。クチコミで参加者が参加者を呼び、子ども同士・親同士が出会い、成長する場
となっている。7月には子ども図書室メンバーの協力を得て、晩ごはん付プログラム「真夏の夜のおはなし会」
を実施した。福島の子どもたちの保養のための「わいわいステイプログラム」の子ども達10名のほか大勢の参加
者でにぎわった。暗い部屋の中、ろうそくをともしのお話会に子ども達は夢中で聞き入っていた。11月には日
本アドラー心理学学会家族コンサルタントの松永茅光氏を迎え、アドラー心理学にもとづく子育て公開講座「勇気
づけて育てよう」を実施。目からのウロコの内容だったとの声も多く、参加者の満足度も高かった。この講座を
受け、継続的に子育ての悩みを共有できるよう、12月より月に1回アドラーdeママズカフェを開催し、毎回定
員いっぱい参加者を得、貴重な会となっている。

4. 外国人学生へのホームステイプログラム

専門学校日本語学科の夏期集中コース参加者6名を対象に、ホームステイプログラムを実施した。国籍は中国、
台湾。ホストファミリーの体調不良により、ホームステイ期間途中で家を変わらなければならないということも
あったが、無事プログラムを完了することができた。今年度は5件のホストファミリー新規登録があった。

V. ボランティア養成事業

1. 梅田

様々な世代の交流、会員親睦などの機会をつくっている。

傾聴関連活動は、カフェと訪問傾聴2つの現場で取り組んだ。傾聴カフェ・ラベンダーは、月3回ペースで実
施。臨床心理士の井ノ崎敦子氏を招き毎年研修会も行っている。訪問傾聴・コスモスはシャロン千里デイサービ
スセンターと今年度よりご家族からの依頼を受け、桃山台にある施設に訪問し傾聴をしている。

クリスマス会は第一部礼拝では朴栄子牧師（豊中第一復興教会）からのメッセージをいただき、第二部ではリ
ーディンググループによる朗読と朴牧師による落語、手作りの料理を一緒に楽しんだ。梅田会員部所属グループ
は現在14あり、約100名のメンバーが自主活動を展開している。リーディンググループ、むらさきつゆくさの会、
みのり会、英会話サロン、聖書を学ぶ会、スウスの会、いのちを語る会、絵手紙の会などのグループが定期的に
活動を行っている。この他、6月、2月に会員ルームでのミニバザーを開催した。

2. 千里

2015年度にWの未来と題して意見交換をおこなってきた集大成として4月に会員協議会「千里の未来を考える」
を開催、様々な意見が出て相互理解が深まった。6月のバザーは会員、ボランティアの協力でたくさんの人でに
ぎわった。会館大掃除は6月にボランティア厨房、外回りを中心に行った。ホールは合唱団、こども館は子ども
図書室メンバー、ボランティア室は点字子ども図書室がそれぞれ担当した。趣味のグループ生け花、水彩画もに
ぎやかに活動中。12月のクリスマスミニセールは「アトリエ創」製作の手作り品ほか華やかな品々がならんだ。
クリスマス会は堺キリスト教会の平良仁志牧師を迎えての礼拝と、千里ハンドベルクワイアによるミニコンサ
ート、ゲーム等を楽しみ、クリスマスの喜びを分かち合った。恒例となった毛糸の帽子を編んでみよう会は例年よ
り多い171個の帽子が集まり、歯ブラシ、固形石けんと共に釜ヶ崎に贈ることができた。バザー・ガレージセ
ールは、売場のレイアウトを工夫し、2階ホールのリサイクル衣料売り場も定着、会員・ボランティアの協力に
より、収益をあげることができた。ガレージセール収益の中から、わいわいステイプログラムほか、他団体に献
金をおこなった。

千里合唱団の協力で行っている歌声サロンは今年度4回開催した。毎回盛況で、開催を心待ちにしている地域
の方々やケアハウス入居者はじめ、多くの参加者が、生演奏による伴奏と手作りのお菓子を楽しんでいる。また

千里合唱団は2017年度に活動35周年をむかえ、7/9に記念コンサートを予定している。聖書を読む会、サロン四季、Bridges、文月会の各グループは、それぞれ充実した活動を展開中。また、清拭布、使用済み切手整理、会館清掃、アトリエ創などのボランティアグループは、シャロン千里の入居者や地域の方の参加もあり活発に活動している。また今年度は、使用済み切手整理の活動15周年記念として「千里でお茶を」バングラデシュ派遣活動報告会～弱さがまく種の物語～を6月に開催。ゲストにJOCs派遣ワーカーの岩本直美氏をむかえ、スライド上映も含んだ活動報告に耳を傾けた。また11月には、桂米團治を千里に初めてむかえYわい亭お楽しみ落語を開催、満席の会場は笑いの渦につつまれた。東日本大震災被災者プログラムを支えるための東北に思いをはせる集いを今年度も開催した。古本市や東北を訪れた会員の報告、福島YWCAのカーロ福島支援の呼びかけの他、子育てプログラム参加者でもあり東北支援の活動をしているアーティスト森田 さんをゲストに迎えミニライブも実施した。

3. ボランティアの受け入れ

主には、電話やホームページからボランティアの問い合わせがあり、毎1回のペースでボランティア説明会を開催している、説明会に参加ができない人には、個別での対応を行っている。1年間のボランティア登録者数は33名。今年度は、クリスマスバザーに特化したボランティア説明会も開催した。

4. ファンドレイジング委員会

人と人とのつながりを大切にしつつ、活動に必要な資金の寄附を募ることを目的に活動を行った。毎年好評のバックウッズ・マウンテニアーズのブルーグラスの演奏で「昼下がりのチャリティーコンサート」を今年度も8月に実施。今回も多くの方の来場者を迎え大変楽しい会となった。11月には日頃それぞれの現場で活動している会員がともに集い、おいしい食事を楽しむY's グルメクラブをリーガロイヤルホテルで開催した。定員いっぱいの方参加者とともに楽しいひと時を過ごした。1月には新春の集い「Yのお正月」と題して、日本ギターコンクール上級部門優勝の宮川春菜氏の演奏とアフタヌーンティーを楽しんだ。多くの支援者が集う機会を設け、YWCAの活動をご理解いただく機会をつくることができた。また、生産者と顔の見える関係の中で、安心・安全・高品質にこだわった生産物を提供いただき支援を頂いた。

5. クリスマスバザー実行委員会

12/3(土) 暖かな一日となり、昨年より100名多い約840名の来場者で賑わった。比較的若い家族連れが目立った。新しいチラシ設置場所を開拓するなど、広報の工夫が効を奏したもようである。7月の実行委員会立ち上げから半年にわたって準備を進め、目標額を超えることができた。今年度も入場料は100円。入場料収入の半額にあたる51,200円を、東日本大震災被災者支援のプログラムに用いた。寄贈品の仕分けや値付けをするボランティアの慢性的不足は今後の課題である。

【開催日】2016/12/3(土) 10:30~15:00 【来場者】約840名 【ボランティア】150名

【内容】企業・団体様、個人の方からの寄贈品、リサイクル衣類、外部からの出店、着物リフォーム作品などの手芸品、手作りお菓子、食堂、喫茶、福引、イベント(似顔絵、街頭紙芝居)

【外部出店】14店 【達成額】2,716,468円(予算230万円)

*収益の中から、下記のとおり外部の社会貢献団体へ寄附をした

そよかぜの家(1万円)、東日本被災支援(東北ヘルプへ)(1万円)、NPO法人いくの学園(1万円)、釜が崎キリスト教協友会(5千円)、関西いのちの電話(5千円)、パレスチナ子どものキャンペーン(5千円)、チェルノブイリ子ども基金(5千円)、在日韓国基督教会館(5千円) 以上、合計55,000円

6. 100周年記念実行委員会

2016年度は実行委員会を3回実施。2018年11月3日の記念式典の会場は、これまでのバザー等でお世話になっているリーガロイヤルホテルで行うことを決定した。2017年4月から開始する記念募金の趣意書を作成した。年史小委員会は、2018年10月完成を目指して原稿作成中。「未来へつながる100のメッセージ」の原稿も募集している。イベント小委員会では記念イベントとして、熊本マリとマリオネットのコンサート、落語会を企画。旅行小委員会は、12/23に「村田隆志先生とゆく！名残の若冲鑑賞ツアー in Kyoto」を実施。あいにくの雨となったが、マイクロバス内でのレクチャーに加え、京都国立博物館では展示を見ながらの解説、また、相国寺では若冲の墓所も案内してもらえ、充実した鑑賞ツアーとなった。

今年度より「若い女性のリーダーシップ養成事業プロジェクト」が始動した。2018年夏の若い女性を対象とした「国際フォーラム」の実施を目指し、3年に渡ってシリーズで講座を開催していくこととなった。第一弾とし

て3月29日(水)～30日(木)に「**ガールズ&ビッグシスターズのためのリーダーシップ養成講座**」を開催した。年齢も出身も多様な中学生から20才までの女性8名が参加。スタッフ10名と共に外国人ゲストの話の聞き、参加者同士で話し合い、そして自分について話したりする中で世の中のことや自分について新しい発見をして元気を与えられる豊かな時間を過ごした。今後は大学生や社会人を対象とした「**ファシリテーター養成講座**」を織り交ぜながら国際フォーラムに向けた「若い女性の育成事業」の取り組みを続けていく。

VI. 広報

1. 機関紙

発行回数は、定例機関紙 [A4版4頁] 年6回、特別号 [A3版両面] 1回。

定例版の1面は主に外部執筆者にその時々課題を明確にする寄稿を依頼、2～3面は、YWCAの関心事や活動テーマを掘り下げる内容となっている。4面には、事業部門を始め大阪YWCAに関わる報告を主に掲載した。

連載では、『ぶどうの木』、『YWの窓』、『クローズアップ』を継続した。

2月に大阪で開催されたワン・ワールド・フェスティバルでの配布を主眼に、8度目となる**特別号**を発行。1面に、浜矩子同志社大学大学院教授からの「若い女性への応援メッセージ」、2面には「大阪YWCA100年の歩み」を写真とともに掲載した。

2. 広報

YWCAロゴマークのオリジナルピンバッジを製作した。全国会員総会でも全国の仲間にアピールをした。毎年恒例のワン・ワールド・フェスティバルに今年度も出店し、YWCA 総合チラシを配布。他部署と連携してYWCAの広報に努めた。

3. ホームページ・WEB 関連

今年度のホームページからの問い合わせ(専門学校は除く)は、年間194件あった。プログラム・講座への問い合わせに次いでボランティア問い合わせが多かった。年々スマートフォンからのホームページ閲覧が増加しているため、来年度に向け対応を検討している。

VII. 日本Y・他市Y・他団体関係

世界YWCA日では、NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」の主人公であり、大阪YWCAの設立準備委員長でもある広岡浅子のドラマでは描かれなかった晩年やYWCAでの働きについて、鹿野幸枝代表理事よりお話いただき、激動の時代に活躍した先輩に思いを馳せる一時となった。YM/YW合同祈祷週集会は大阪YWCAが担当となり、「誰も置き去りにしない」というテーマのもと実施。第1部の礼拝では日本基督教団河内松原教会の井口智子牧師より、ご自身の体験や絵本を交えてメッセージをいただいた。交流会では手作り水ギョウザやおでんなど心のこもった食事が提供され、各Yからの出し物では、マクロビオティックをテーマとしたこども部の親子プログラムが報告された。3市Y交流会も大阪YWCAが担当し、熊本YWCAのユースメンバーを迎えて行った。11月には日本YWCAの全国総会が行われ、代議員11名、陪席3名、日本YWCA運営委員2名、計16名の会員が参加した。また、Y's Wonderful Women賞には、大阪Yから3名の先輩会員を推薦。感謝のメッセージ入りの盾が送られた。

I. 教育事業

1. 専門学校事業

(1) 全体概要

◇会議

- *日本語学科ミーティング 4回実施 出席延数46人
- *広報ミーティング 2回実施 出席延数10人
- *クリスマスパーティー実行委員会 2回実施 出席延数32人
- *予備教育講師会 3/14 出席9人
- *担任会 9/26、3/17 出席21人
- *全体講師会 4/1、10/5、3/31 出席92人
- *全体反省会 3/10 出席25人
- *中間講師会 6/15、12/6 出席50人
- *春期報告会 9/23 出席9人
- *卒業判定会議 3/8 出席12人

◇外部団体合会への参加・出席

- *大阪府専門学校各種学校連合会
 - ・留学生委員会ワーキング会議(12回) 白川啓子、中山羊奈
 - ・ベトナム事業打合せ(10/7) 白川啓子
 - ・日本語学校・専門学校の受け入れ担当者向け研修会(1/19) 清島千春、白川啓子、藤田実余子
 - ・外国人留学生採用交流会(2/6) 川崎仁子、佐伯玲子、白川啓子
 - ・スピーチコンテスト優秀者来日歓迎会(2/13) 白川啓子、藤田実余子
 - ・人権教育研修会シンポジウム「発達障がいのある生徒へのキャリアサポート」(2/17) 池田操
- *日本語教育振興協会
 - ・近畿地区維持会員協議会(7/8) 坂東暁子
 - ・日本語教育機関の告示基準等の説明会(9/5) 川崎仁子
 - ・日本語教育機関事務研究協議会(12/14) 川崎仁子
 - ・日本語教育機関トップセミナー(1/19-20) 中山羊奈
 - ・申請取次者講習会(1/24) 池田操
 - ・生活指導担当者研修(2/15-16) 藤田実余子
- *その他
 - ・JaLSA 関西教育・文化懇話会(3回) 川崎仁子、白川啓子、吉本沙矢香
 - ・大阪府主催 インドネシアにおける留学窓口事業説明会(4/27) 吉本沙矢香
 - ・大阪市阿倍野区主催 啓発講演会「知る・つながる・支えあう〜ご存知ですか?発達障がい〜」(5/13) 川崎仁子
 - ・大阪府基礎資料調査説明会(5/18) 藤田実余子
 - ・さんぼう主催 留学フォーラム(6/25) 福嶋香理、藤田実余子
 - ・㈱ノーザンライツ主催 ジャパニーズカフェアルバイトセミナー(7/19) 白川啓子、学生1名
 - ・大阪大学国際交流オフィス主催 外国人留学生の在留審査手続の申請取次に係る研修会(7/20) 川崎仁子
 - ・GAコンサルタンツ株式会社訪問(8/22) 川崎仁子、白川啓子
 - ・関西経済連合会主催 グローバル人材活用セミナー(8/29、30) 清島千春、藤田実余子
 - ・文化庁主催 日本語教育研究協議会(10/1) 牛江真由子
 - ・ドンズー日本語学校 開校25周年記念式典(10/5) 佐伯玲子
 - ・大阪市民政局主催 多文化共生サポーター入門講座(10/7、21、12/9、1/27、2/3) 牛江真由子
 - ・全国専門学校各種学校日本語教育協会 講演会(11/14) 白川啓子
 - ・ホーチミン師範大学歓迎会(11/28) 中山羊奈、藤田実余子
 - ・VNBI G(ベトナムビジネスインフォメーショングループ)主催 交流会(12/11) 川崎仁子
 - ・大阪YMCA主催 サポートクラス20周年記念自立支援セミナー(1/14) 川崎仁子

◇カウンセリングルーム カウンセラー：井ノ崎敦子、橋詰知子 相談者数実数7人、延べ相談回数13回

(2) 日本語学科・日本語第二学科

◇クラス数/学生数

クラス数		学生数				
		1年	1.5年	第二学科	一般	合計
春期	6	25	15	16	26	82
秋期	7	23	36	12	25	96

※モーニング会話クラスを含む

◇出身国と地域：

中国、台湾、香港、韓国、ベトナム、タイ、インドネシア、スリランカ、インド、ネパール、カナダ、メキシコ、オーストラリア、フランス、イタリア、日本

◇進学指導・生活指導関係

内容	回数もしくは日程	出席者数
実力テスト	7回	383 (受験者のみ)
文法テスト	14回	448 (受験者のみ)
定期テスト (5科目)	4回	1346 (受験者のみ)
継続生クラス分けテスト	9/20、3/6	95 (受験者のみ)
新入生クラス分けテスト	2回	61 (受験者のみ)
日本留学試験	6/19、11/13	39 (受験者のみ)
日本語能力試験	7/3、12/4	96 (受験者のみ)
進路説明会	4/5、6/20、6/23、3/7	117
大学・専門学校進学説明会	8/24	58
ベトナム人留学生オリエンテーション	4/4	10
進路相談	10回	22
生活相談	93回	134 (学生のみ)
予備教育：総合科目 4月～11月 18回 英語 4月～9月 20回 数学 4月～11月 24回 化学 4月～11月 12回 生物 4月～11月 11回		
非漢字圏学生の漢字クラス：4月～2月 (3クラス) 週2回		

◇年中行事・校外学習・課外活動プログラム・特別授業

内容	回数もしくは日程	出席者数
入学式 (春・秋)	4/5、10/7	199
校外学習 (春・秋)	5/2、10/21、10/28	160
健康診断	11/18、21、12/15	延 244
日帰り旅行	7/8	76
N2 対策夏期講習	全 10 日	204
スピーチコンテスト	9/21	79
クリスマスパーティー	12/16	94
第二学科進学説明会	1/13	18
全国専門学校各種学校日本語学習外国人留学生・日本語弁論大会	1/26	2
会話特別授業 (シャロン千里訪問)	2/15	35
専門学校出前授業	3/7	31
学習発表会	3/10	69
卒業式	3/15	96

◇海外での学生募集

- ・中国 4回 南昌、撫州、大連、上海、南京、北京 計6都市 金子蘭、白川啓子、坂東暁子、大河内敏弘
- ・台湾 1回 台北 計1都市 坂東暁子
- ・ベトナム 2回 ハノイ、ホーチミン 計2都市 白川啓子、藤田実余子

◇イブニングコース

春期：3クラス 23名 秋期：3クラス 26名

出身国/地域：中国、タイ、ベトナム、インド、アメリカ、イギリス、ベナン、オーストラリア、インドネシア

◇日本語能力試験準備コース

春期：1クラス (N1) 4人 秋期：1クラス (N1) 4人

出身国/地域：ロシア、中国、台湾、アイルランド、ベトナム

◇夏期集中コース (7/19~8/5)

4クラス 30人

出身国/地域：中国、台湾、香港、韓国、タイ、マレーシア、ベトナム、アメリカ

オプションプログラム：ティーパーティー (7/19 30人)、お好み焼き (7/22 23人)、
手塚治虫記念館見学 (7/23 9人) カードケース製作 (7/28 10人) ちぎり絵製作 (7/29 7人)
フィギュア製作 (8/1 10人)、お菓子作り体験 (8/2 13人)、ゆかた体験 (8/5 11人)

◇プライベート・出張授業 13件

◇会議

イブニング・能力試験準備コース講師会 (4/5 8人)
夏期集中コース コースリーダー会 (7/11 9人)
夏期集中コース 講師会 (7/15 12人)
夏期集中コース コースリーダー反省会 (8/5 5人)
日本語能力試験準備コースN1 講師会 (9/2 7人)
イブニングコース秋期講師会 (9/30 8人)

◇テスト

イブニングコース・日本語能力試験準備コース プレイスメントテスト (4/1 14人)
夏期集中コース プレイスメントテスト (7/19 28人)
日本語能力試験準備コース プレイスメントテスト (9/1、14 4人)
イブニングコースプレイスメントテスト (9/27、29 11人)

◇奨学金

奨学金名称	受給者名	受給額
文部科学省外国人留学生学習奨励費	チャン ティ ニョン (ベトナム/女)	月額 48,000 円 (1年)
大阪YWCA 留学生里親の会奨学金	ヴ ティ ビッチ チャム (ベトナム/女) チャン ティ クイン アン (ベトナム/女)	月額 30,000 円 (6ヶ月)
鈴木保奨学金	周 子鷺 (中国/女) チャン トウイ アン (ベトナム/女)	年額 150,000 円 (6ヶ月)
大阪YWCA 奨学金	レ ティー ツー タオ (ベトナム/女) 沈 月林 (中国/女)	月額 20,000 円 (6ヶ月)

2. 日本語教師を育成する事業

(1) 日本語教師養成講座

◇新規入学者 春期10人 秋期0人

◇在籍数

コース名	外国語としての日本語を知るコース	日本語を教えるコース I	言語と文化を学ぶコース
在籍者数	27	18	26
コース名	日本語の歴史と文化を学ぶコース	日本語を教えるコース II	日本語のしくみを知るコース
在籍者数	19	15	23

◇講義回数 (年間総時間数 420 時間)

外国語としての日本語を知るコース：22回
日本語を教えるコース I：20回
言語と文化を学ぶコース：22回
日本語の歴史と文化を学ぶコース：21回
日本語を教えるコース II：22回
日本語のしくみを知るコース：21回 (実習回数 20回)

◇修了生数 12人

◇プログラム

*FFP (Foreign Friendship Program) 全31回 延62人
*日本語本科会話授業 2017/2/6 参加者：5人
*授業体験「文の形と構造」8/23 参加者：2人
「日本語の文法の歴史」2017/2/21 参加者：6人
「日本語能力試験対策」2017/3/9、16 参加者：17人
「私のクールジャパン」2017/3/21 参加者：1人

- *JICA ボランティアセミナー 2017/3/23 参加者：2人
- *先輩と語るシリーズ「海外で日本語を教える～日本語パートナーズに参加して～インドネシア&ベトナム」
7/30 参加者：18人
- *受講生募集ガイダンス 全8回 参加者：19人
- *個別説明会 延15回 参加者：16人

(2) 日本語教師会事業

- ◇会勢 新規入会者14人 総会員数226人（内休会75人）
- ◇月報 「マンスリー日本語教師会」の発行（12回）
- ◇図書・テープの貸し出し状況 図書 68冊、視聴覚教材 80本
- ◇入会オリエンテーション（日本語授業プレゼンテーション含む）（2/4 23人）
- ◇専任講師 佐伯玲子
- ◇専任講師会の実施 計4回
- ◇日本語教育状況

学校・コース名	教師数			
	春期	夏期	秋期	冬期
専門学校日本語学科全日制	25	—	30	—
〃 モーニング会話	5	—	5	—
〃 イブニング	6	—	6	—
〃 能力試験準備	2		2	
〃 夏期集中		15		
〃 ビジネス日本語クラス	4	—	4	—
近畿中国帰国者支援・交流センター	21	—	17	—
中国帰国者支援事業日本語コース梅田教室(大阪市)	4	—	4	—
〃 平野教室	2	—	2	—
〃 門真教室	3	—	3	—
〃 京都教室	2	—	2	—
〃 近江八幡教室	1	—	1	—
〃 堺 健老クラブ	3	—	3	—
プライベート及び出張授業	13件/教師17人			

◇講座・研修会・研究会・プロジェクト

- ①新人講師研修会 全5回 対象者3人
- ②日本語教師ビギナーのための日本語初級文型の教え方講座 講師：佐伯玲子 全12回 10人
- ③初級文型との違いがわかる！日本語中級文型の教え方講座 講師：佐伯玲子 全12回 5人
- ④2016年度日本語教育能力検定試験対策講座
講師：島千尋 第一期：全6回15人 第二期：全7回18人 第三期：全8回19人 第四期：全9回20人
- ⑤識字・日本語ボランティアのためのスキルアップ講座（大阪市立総合生涯学習センターと共催）
講師：伊東和子、野村麻里、村井喜久美 全10回
- ⑥夏の日本語教育セミナー 講師：中川正之、定延利之（8/6） 42人
- ⑦日本語教師のためのベトナム語セミナー 講師：五十嵐世騰（10/1、4/1） 59人、40人
- ⑧日本語教師のためのイラストセミナー 講師：児島弥生（3/18） 14人
- ⑨文法・構文研究会 全11回 メンバー13人
- ⑩ビジネス日本語クラスのための特別研修プログラム 講師：小林誠二、山田登 全4回 7人
- ⑪ビジネス日本語プロジェクト 全16回 メンバー10人

◇外部出張（講師として）

- ①生駒市「日本語学習支援ボランティア養成講座(入門編)」全3回 里井有里、中西久美子
- ②大阪市立総合生涯学習センター「こほんごこんには(基礎レベルの日本語教室)」全60回
大西雅子、小林真理子、田村亜津子、日吉和久、安井ゆたか、八巻昌代
- ③同上「識字・日本語交流ボランティア入門講座」全1回 山田登
- ④大阪府教育庁「日本語初心学習者支援講習会」全3回 伊東和子、辻村文子
- ⑤関西学院大学「日本語・日本文化学習プログラム」2クラス
辻三千恵、辻村文子、福家枝里、安井ゆたか

- ⑥トラベルジャーナル学園日本語授業 14クラス
大町暁美、樽井賢治、林昌子、日吉和久、平野洋子、藤井麻理
- ⑦日本語サロンさんだ「ブラッシュアップ講座」全1回 伊東和子
- ⑧寝屋川市国際交流協会「NIEFA日本語教室ボランティア講師養成講座」全10回
大西雅子、中西久美子、野村麻里、山田登
- ⑨東大阪日本語教室「日本語ボランティア講習会」全2回 里井有里、中西久美子
- ⑩枚方市文化国際財団「日本語ボランティア養成講座」全19回
大西雅子、中西久美子、野村麻里、林昌子、山田登
- ⑪同上「日本語ボランティア ステップアップ講座」全3回 伊東和子、辻村文子
- ⑫枚方療育園「講習・派遣者向け研修」全9回 伊東和子、佐伯玲子、中西久美子、野村麻里、山田登
- ⑬松原市「日本語学習パートナー入門講座」全2回 辻村文子
- ⑭守口市国際交流協会「日本語ボランティア ブラッシュアップ講座」全5回
里井有里、辻村文子、村井喜久美
- ⑮八尾市立八尾中学校夜間学級職員研修「外国人生徒への日本語指導」全1回 伊東和子
- ⑯大和郡山市「日本語教室スタッフ スキルアップ講座」全2回 伊東和子、里井有里
- ⑰流通科学大学「関西弁講座」全6回 氏原庸子

◇外部集会・研修参加

- ①枚方療育園来訪(4/7) 白川啓子、佐伯玲子
- ②関西学院大学日本語プログラム打合せ(4/13) 白川啓子、佐伯玲子、藤原裕美子
- ③枚方療育園打合せ(6/8) 川崎仁子、白川啓子、佐伯玲子、藤原裕美子
- ④トラベルジャーナル学園来訪(7/14) 川崎仁子、白川啓子、佐伯玲子
- ⑤大阪府教育庁来訪(7/20) 白川啓子、佐伯玲子、藤原裕美子
- ⑥平成28年度日本語学校教育研究大会(8/24) 佐伯玲子
- ⑦ベトナム語セミナー打合せ(8/30) 佐伯玲子、藤原裕美子
- ⑧大阪市立総合生涯学習センター打合せ(訪問)(9/7) 川崎仁子、白川啓子、佐伯玲子
- ⑨「OJADとそれをういた音声指導」(語文研究社主催)(12/26) 佐伯玲子
- ⑩モード学園来訪(1/20) 川崎仁子、白川啓子、佐伯玲子、藤原裕美子
- ⑪大阪市立総合生涯学習センター打合せ(訪問)(1/25) 川崎仁子、佐伯玲子、藤原裕美子
- ⑫エスペック(株) (ビジネス日本語関係営業) (3/1) 佐伯玲子、小林誠二
- ⑬(株)エクセディ、コニシ(株) (ビジネス日本語関係営業) (3/9) 川崎仁子、佐伯玲子、小林誠二

3. 生涯学習の各種クラス・講座

(1) ランゲージ

◇クラス状況

科目	春期		秋期	
	クラス数	在籍数	クラス数	在籍数
韓国語	4	13	4	12
韓国語プライベートレッスン(1人×6回)	0	0	1	1

◇単発講座

内容	日程	参加者数
韓国語特別レッスン「いきいき会話表現」	3/30	5

◇外部講座

内容	回数
ゆうえる倶楽部(吹田市)	全44回
幼児英語(大宮保育園)	全19回

(2) 子どもと子どもの本の講座

◇クラス状況

内容	回数	延べ人数
子どもと本をむすぶ基礎コース	20	186
図書館・学校ボランティアのブラッシュアップコース	10	162
児童文学をたのしむ特別講座	11	161
子どもと本をつなぐ講座	1	11

(3) 生涯学習・教養講座

講座名	講師	回数	受講者(延人数)
俳句講座	松田美子(俳人高浜虚子の孫・俳誌「春潮」主宰)	10	158
俳句吟行会(京都YWCA)	松田美子(俳人高浜虚子の孫・俳誌「春潮」主宰)	1	20
美術鑑賞講座	大久保恭子(京都橘大学教授)	1	31
人類の文化	奥西峻介(大阪大学名誉教授)	15	178
奥西先生と映画を楽しむ会	奥西峻介(大阪大学名誉教授)	5	41
YWCA歩こう会	奥西峻介(大阪大学名誉教授)	5	50
YWCA歩こう会下見	奥西峻介(大阪大学名誉教授)	1	6
伊藤若冲セミナー	村田隆志(大阪国際大学准教授)	1	22

II. 平和・人権・環境等国内外の社会問題についての学習及び普及啓発と人材養成事業

1. 人材育成・研修事業

◇連続講座

講座名	回数	延べ人数
ソーシャルワークセミナー「傾聴力養成コース」	10	199
ソーシャルワークセミナー「支援力養成コース」	5	59
脳力UP!手話講座	23	125
人と人との豊かな関係づくり講座「～わたしもOK、あなたもOK ハッピーライフのためのコミュニケーション術」	3	62
コミュニティ・コーディネーター養成講座	4	49

◇単発講座

集会名	日程	参加者数
ストレングスファインダーBasic	5/19	8
インバスケツト演習を活用した管理能力向上研修	7/28、29	10
アンガーマネジメント入門講座	8/4	18
服巻智子講演会「発達障がいをもつ子どもたちの成長、 そして自立～自閉症スペクトラムを中心に～」	11/11	62
PCM Key To Me 講座	2/22	22

2. 平和・環境についての学習と啓発事業

◇主催事業

プログラム名	講師等	集会日	参加者
憲法カフェ	朝日新聞社記者	6/29	18名
電気のはなし	高橋 智子(コープこうべ地域活動推進部)	10/29	11名
大人の社会科	小澤 裕子	11/14	10名
大人の社会科	小澤 裕子	12/12	11名
大人の社会科 近隣アジア篇	小澤 裕子	1/16	11名
憲法カフェ	上山 勤(弁護士)	2/16	11名
近現代史の朝鮮半島	小澤 裕子	3/4	25名

3. 東日本大震災被災者支援

◇被災地の子どもたちを対象にしたリフレッシュプログラム

集会名	日程	被災地からの参加	ボランティア
2016年夏 大阪わいわいステイププログラム	7/26～8/1	10	延べ70

◇その他プログラム

集会名	集会日	人数
Stand by you 於：雲州堂	2/25	27
街頭募金 於：大阪駅周辺	3/11	5

Ⅲ. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

1. 知的障がいをもつ女性の社会参加を促進する事業

(1) グループパレット (知的障がいをもつ女性たちのグループ活動)

◇2016年度登録者数 16人

集会名	集会日	参加人数
例会	年間10回	延べ141人
家族の集い	8/21	15人
一泊旅行 行き先：高槻森林観光センター	11/5～6 (土・日)	17人

(2) ガールズSST (ソーシャル・スキル・トレーニング)

集会名	日程	参加者数
合宿打合せ (国際障害交流センター ビッグ・アイ)	4/21、8/4	延10
運営委員会	5/11	4
ミーティング	6/22、6/30、8/25	延13
公開フォーラム「障がいがあっても・卒業してもガールズ・ライフをハッピーに！」	7/2	31
勉強会	7/27、8/5	延12
デイプログラム	8/9	20
合宿 (国際障害交流センター ビッグ・アイ)	8/26-27	19
同窓会&クリスマス会	12/23	10

訪問/来訪	日程	参加者数
思斉支援学校	6/3	2
東淀川支援学校	6/15	3
住之江支援学校	6/15	2
東住吉支援学校 (来訪)	6/15	3
なにわ高等支援学校	6/16	3
近畿情報高等専修学校 (来訪)	6/17	2
大阪府教育センター	6/20	4
大阪市発達障がい者支援センター	6/21	3
大阪市職業リハビリテーションセンター	6/21	3
大阪YMCA学院高等学校	6/21	2
クレオ大阪子育て館	6/25	2
淀川区子ども子育てプラザ	6/29	2

2. 視覚障がいをもつ人の社会参加を支援する事業

◇点字子ども図書室

	回数/年	延人数
点字図書製作	46回	1,654
点字図書貸し出し	49回	159

貸出対象人数	貸出タイトル数	貸出冊数
78	383	703

◇視覚障がい者支援

グループ名	回数	延人数	
リーディング グループ	きく	1	2
	エコー	5	17
	ぼれぼれ	11	44
	道	0	0
	わ	10	42
むらさきつゆくさの会	12	受講生	110
		ボランティア	88
むらさきつゆくさの会交流会	1	34	

3. 高齢者の社会参加を促進する事業

◇配食サービス

回数/年	配食数/年	総数/年	調理働き人/年	運転働き人/年
46	3,245	4,072	585	261

◇集会

集会名	回数/年	延ボランティア数	延利用者数
いこいの集い	6	96	339
デイサービスお茶ボランティア	108	112	1,795
井戸端カフェ茶話茶話	21	101	742
おしゃべりルーム	38	112	437

4. DV被害女性の支援事業

◇ステップハウスを支える会 (2016年4月～2017年3月)

会費納入：個人39名 ¥138,000 (46口)

寄付：523,925円 (個人22名、団体1、インターネット募金など) 物品提供:12件

◇生活支援実績

		回数	延人数	職員
問合せ件数		25件		
入居者数		2名		
延利用日数		34日		
入居面接		1回	6	2
更新面接		0	0	0
退所面接		0	0	0
退所立会い		0	0	0
訪問	生活・自立相談	5回	14	6
	カウンセリング	0	0	0
	ティーマーケティング	0	0	0
つきそい支援		0	0	0
電話相談		32回	37	32
来館・その他		12回	23	13

◇プログラム

プログラム名	集会日・回数	人数
ジェンダー女子会	4/1, 5/6, 6/3, 7/1, 8/5, 9/2, 10/7, 11/4, 2/3	42
くれよん月例会	4/9, 5/14, 6/4, 7/9, 9/10, 10/8, 11/12, 12/10, 1/14, 2/4, 3/4	97
カウンセリング	4/9, 16, 30, 5/7, 28, 7/9, 16, 8/6, 9/10, 10/8, 11/26, 3/4	26

◇単発プログラム

プログラム名	集会日・回数	人数
クリスマス会	12/17	8(元入居者3)
DV被害者支援のための電話相談員養成講座	3/18	22(内職員2)

◇外部集会・研修・会議等

プログラム名	集会日・回数	大阪Yからの出席者 ／全体参加者
大阪市DV施策ネットワーク会議	4/18	1/28
DV被害者支援ネットワーク近畿定例会	5/31, 8/30, 12/13, 2/28	5/26
いくの学園理事会	5/9, 1/24	2/23
大阪市DV施策関係職員研修会	5/10, 31, 10/7	4/89
全国女性シェルターネット総会	6/26	1/50
全国女性シェルターネット近畿ブロックミーティング	6/29	1/11
第19回全国シェルターシンポジウム2016 in 大分	10/29, 30	2/962
大阪府内市町村相談員スキルアップ研修	11/30	1/19
「支援者トレーニング」大阪 打合せ	2/24	2/7
シンポジウム 「パトンをつないで～女性支援の“法の壁”を越えるために～」	2/25	2/50
寄り添いホットライン全体会議	3/27	1/40

5. 中国残留邦人等への支援事業

(1) 近畿中国帰国者支援・交流センター（厚生労働省委託事業）

◇クラス状況

*通学学習課程（春・夏期 9月末在籍者）

クラス	在籍者数	クラス	在籍者数
入門日本語	17	日本語G	20
集中日本語A	7	上級ビジネス日本語	13
集中日本語B	5	日本語能力試験N3対策	26
日本語A	11	日本語能力試験N2対策	25
日本語B	27	日本語能力試験N1対策	15
日本語C	20	通訳案内士受験対策	19
日本語D	18	パソコン基礎	10
日本語E	17		
日本語F	22	合計	272

*通学学習課程（秋・冬期 3月末在籍者）

クラス	在籍者数	クラス	在籍者数
入門日本語	11	日本語G	19
集中日本語A	7	上級ビジネス日本語	10
集中日本語B	5	日本語能力試験N3対策	21
日本語A	9	日本語能力試験N2対策	20
日本語B	12	日本語能力試験N1対策	19
日本語C	24	通訳案内士試験対策	20
日本語D	17	パソコン	5
日本語E	18		
日本語F	18	合計	235

*遠隔学習課程

コース名	延べ受講者数
ホームヘルパー受講準備	47

*遠隔学習課程スクーリング

実施回数：30回 受講生数：延べ140名

遠隔学習課程 (15) (スクーリング)	1	ゆっくり漢字	9	近隣交際会話
	2	数学	10	中国語ピンイン
	3	漢字学習	11	おしゃべり話題
	4	続入門日本語文法文型	12	読解の基礎
	5	自己表現作文	13	医療
	6	入門日本語文法文型	14	学校
	7	高卒程度国語	15	日本語能力試験N2
	8	消費生活		

◇その他

- *会話実習 (集中クラス～上級クラス) 全4回 延べ参加者：43名
- *通訳案内士試験対策クラス ピース大阪見学 8/7 参加：13名
- *集中クラス ハローワーク体験実習 9/5 3/6 全2回 延べ参加者：14名
- *集中クラス 就労面接実習 9/12 3/13 全2回 延べ参加者：15名
- *日曜日クラス(A～E) 会話実習 2/5, 2/19 参加：33名
- *集中クラス 家庭訪問実習 3/7 参加：7名
- *集中クラス 避難訓練 3/9 参加：24名
- *日本語実力テスト 3/12 参加：36名

◇地域交流活動・行事

定期実施交流プログラム		実施回数	参加者総数
1	和裁・洋裁・編み物クラブ	82	593
2	朗朗日本語 (歌を唄う・ニュース他)	37	633
3	朗朗イキイキ体操	41	694
4	朗朗腰痛予防体操	39	301
5	フラダンス	12	69
6	囲碁・将棋・トランプ	41	277
7	傾聴会話交流	42	442
8	社交ダンス	41	780
合計		335	3789

◇地域交流プログラム等内容・参加者 (不定期)

- *餃子づくり交流会 5/30 参加：14名
- *学習発表会 9/11 参加：117名
- *職場見学&交流バス旅行 9/25 参加：86名

◇相談事業

相談件数 572件

区分	来訪	電話	文書等	合計
仕事	7	1	8	16
日本語	389	49	0	438
住宅	2	0	0	2
生活保護	0	1	0	1
学校	40	9	0	49
戸籍	1	1	0	2
医療	2	15	0	17
その他	35	12	0	47

*介護相談会 3/12 講師：下岡純子 参加：5名

◇会議・研修会

- *全体講師会&中間講師会 全4回
- *新人講師オリエンテーション 全2回
- *中国残留邦人に対する支援策全国担当者会議 5/20 主催：厚生労働省 参加：山下つねよ、坂東暁子
- *支援・交流センター連絡会議 5/19 主催：厚生労働省 参加：山下つねよ

- *近畿ブロック担当者連絡会議 9/27 主催：近畿センター 参加：25 自治体 51 名
- *スクーリング講師研修会 11/10 主催：首都圏中国帰国者支援・交流センター 参加：氏原庸子、坂東暁子
- *支援・相談員研修会 1/24 主催：兵庫県 参加：山下つねよ
- *ボランティア研修会 1/20 協力：神戸学院大学 参加：20 名
講師：宗景正（写真家） 体験報告：下岡純子（中国帰国者2世）
- *中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム 1/31 主催：近畿センター 参加：123 名
基調講演：宗景正（写真家）
パネリスト：大槻麗子（中国帰国者1世）、新津春子（中国帰国者2世）、五十嵐世騰（中国帰国者3世）
コーディネーター：氏原庸子（教務主任）
- *事業計画に関する打ち合わせ 2/10 主催：厚労省 参加：山下つねよ、坂東暁子
- *ボランティア研修会 3/20 協力：NPO 法人劇団道化 参加：93 名 内容：中国語による演劇（3 ビキのコブタ）

◇外部団体プログラム参加・協力

- *八尾市中国帰国者支援交流会総会 6/26 参加：坂東暁子、五十嵐裕
- *尼崎コスモスの会日本語教室交流会&奈良中国帰国者日本語教室 10/25 主催：コスモスの会 参加：山下つねよ、坂東暁子
- *高砂日本語教室10周年記念誌出版を祝う会 11/18 参加：山下つねよ、坂東暁子
- *尼崎コスモスの会新年交流会 1/24 参加：坂東暁子
- *奈良県中国帰国者支援交流会新年交流会 2/18 参加：山下つねよ、坂東暁子
- *八尾市中国帰国者支援交流会新年交流会 2/19 参加：山下つねよ、坂東暁子
- *尼崎コスモスの会学習発表会 3/21 参加：岩井一枝、五十嵐裕

(2) 大阪市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
ゆっくり日本語A (梅田)	18
ゆっくり日本語B (梅田)	18
ゆっくり日本語C (梅田)	18
ゆっくり日本語D (梅田)	19
趣味のパソコン	8
朗朗クラブ自習パソコンI	6
朗朗クラブ自習パソコンII	6
日本語A (平野)	10
日本語B (平野)	4
合計	107

<秋・冬学期>

クラス	受講者数
ゆっくり日本語A (梅田)	15
ゆっくり日本語B (梅田)	14
ゆっくり日本語C (梅田)	18
ゆっくり日本語D (梅田)	17
趣味のパソコン	6
朗朗クラブ自習パソコン	6
日本語A (平野)	15
日本語B (平野)	4
合計	110

*講師数 10 名 *講師会 年4回実施

*北区民まつり 10/16 参加：6 名

*北区民まつり 10/29 参加：4 名

*ゆっくりBクラス会話実習 2/4 受講生参加：10 名 ボランティア参加：2 名

*ゆっくりCクラス会話実習 2/40 受講生参加：15 名 ボランティア参加：2 名

*ゆっくりAクラス会話実習 2/18 受講生参加：14 名 ボランティア参加：3 名

*ゆっくりBクラス会話実習 2/18 受講生参加：17 名 ボランティア参加：3 名

*学習発表会 3/18 参加：46 名

◇関係職員等研修・啓発学習

*医療通訳研修会 主催：大阪府 参加：延べ22 名（自立支援通訳等）

*自立支援通訳等研修会 主催：大阪市 参加：27 名（自立支援通訳等）

*中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム

主催：近畿中国帰国者支援・交流センター 参加：12 名（自立支援通訳等7 名、日本語講師5 名）

◇自立支援通訳等派遣事業 自立指導員派遣回数 延べ157 回 自立支援通訳派遣回数 延べ2327 回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自立支援通訳	222	187	194	205	200	194	191	184	180	173	166	231	2327
自立指導員	13	17	13	14	20	11	12	13	7	13	12	12	157

*自立支援通訳等面談 参加：12 名

*介護相談会 3/4、3/19 参加：18名

(3) 門真市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
日本語A	19
日本語B	11
日本語C	10
合計	40

*講師数 3名 *講師会 4回実施

<秋・冬学期>

クラス	受講者数
日本語A	18
日本語B	11
日本語C	9
合計	38

◇地域交流事業

*朗朗クラブ 21回 延べ参加者数：211名

*地域交流バス旅行 7/6 行き先：三重県伊賀市 内容：じゃがいも収穫&和太鼓体験 参加：32名

*近畿中国帰国者支援・交流センター中間学習発表会参加9/11 参加：25名

*地域交流バス旅行 3/26 菜花収穫 行き先：三重県伊賀市 参加：33名

(4) 京都市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

クラス	受講者数
日本語A	8
日本語B	8
合計	16

*講師数 2名 *講師会 2回

*京都市教室開講式 4/10 参加：23名

◇関係機関、地域交流事業等

*朗朗クラブ 10回 延べ参加者：30名

(5) 宇治市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

クラス	受講者数
日本語A	7
日本語B	7
合計	14

*非常勤講師数 2名 *講師会 2回

*開講式 10/4 参加：18名

*中国帰国者日本語教室運営連絡会 主催：京都府 参加：4名

◇関係機関 地域交流事業等

*朗朗クラブ 10回 延べ参加者：25名

(6) 近江八幡市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
日本語初級 I	2
合計	2

*非常勤講師数 1名 *講師会 2回実施

<秋・冬学期>

クラス	受講者数
日本語初級 I	2
合計	2

◇地域交流事業、会議他

*初級 I・II 合同クラス 17回 延べ参加者数：32名 ボランティア 延べ参加者数：28名

(7) 堺市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業（堺健老クラブ）

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
日本語初級1A	9
日本語初級1B	10
日本語初級II	9
合計	28

*非常勤講師数 3名 *講師会 年4回実施

*受講生数 延べ727名

*合同クラスボランティア34回 延べ参加者数:219名

<秋・冬学期>

クラス	受講者数
日本語初級1A	10
日本語初級1B	10
日本語初級II	7
合計	27

◇地域交流事業他

*神戸学院大学50周年記念式典 6/11 参加:中山羊奈、山下つねよ

*堺市中国帰国者交流会新年会 1/22 参加:山下つねよ

*校外学習 12/21 行き先:神戸学院大学 内容:グローバルコミュニケーション学部学生との交流 参加:28名

*学習発表会 3/9 参加:41名

*校外学習 3/16 行き先:滋賀県大津市 内容:大津市在住帰国者との交流 参加:38名

(8) 大阪府中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

*「医療通訳研修会」(全6回)実施。中国帰国者の高齢化を考慮し医療だけでなく、介護に関する知識も学べる研修会となった。

	時間	テーマ	内容	講師	参加者数
11月8日	10:00~12:00	介護の知識Ⅰ	福祉用具について	柳田耕生	37名
11月8日	13:00~15:00	医療の知識Ⅱ	高齢者の疾患(循環器の基礎知識)	石井豊	34名
11月25日	10:00~12:00	介護の知識Ⅱ	認知症の理解と対応	安藤努	26名
11月25日	13:00~15:00	医療の知識Ⅱ	検査に関する基礎知識	藤本瑞穂	32名
12月6日	10:30~12:30	医療の知識Ⅲ	西洋医学と東洋医学の基礎知識①	戴毅	42名
12月6日	13:30~15:30	医療の知識Ⅳ	西洋医学と東洋医学の基礎知識②	戴毅	41名
1月11日	10:00~12:00	医療の知識Ⅴ	薬に関する基礎知識	桂木聡子	39名
1月11日	13:00~15:00	医療の知識Ⅵ	薬に関する基礎知識(認知症を中心に)	桂木聡子	37名
1月18日	10:00~12:00	医療の知識Ⅶ	通訳技術トレーニング①	森山美幸・宮地由歌	41名
1月18日	13:00~15:00	医療の知識Ⅷ	通訳技術トレーニング②	森山美幸・宮地由歌	38名
2月7日	10:00~12:00	医療の知識Ⅸ	通訳技術トレーニング③	森山美幸・宮地由歌	39名
2月7日	13:00~15:00	医療の知識Ⅹ	筋・骨格系の基礎知識(リハビリを含めて)	黒川正夫	39名

※ファシリテーター 吉田智美(11月8日、11月25日)

(9) 和歌山県中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇地域交流事業 *兵庫医療大学訪問&神戸動物王国見学 2/1 参加:39名

IV. 青少年育成事業

1. 青少年活動

(1) 自然体験プログラム

◇主催事業

プログラム名	場所	集会日	人数
そとあそプログラム「スズメのお宿はどこじゃろな」	千里北公園	5/15	12
ゲンキッズドロンコ夏キャンプ「灼熱の料理人」	吹田市自然体験交流センター	7/30~31	40
親子プログラム「甘味博士とマクロビオティックの世界」	シャロン千里	9/4	18
クリスマス会〜クリスマスソングを作るの巻〜	シャロン千里	12/18	45
そとあそプログラム「じゃくにくきょうしよくおにごっこ」	千里北公園	1/29	22
春キャンプ「コンコンきつねのコンセンサス」	吹田市自然体験交流センター	3/25~26	13

◇リーダートレーニング

プログラム名	場所	集会日	人数
リーダートレーニング「子どもとのコミュニケーション」	大阪YWCA本館	5/16	8
リーダートレーニング「キャンプの作り方」	大阪YWCA本館	5/26	7
リーダートレーニング「国際理解/多文化共生とは？」	大阪YWCA本館	6/10	6
リーダートレーニング「レクリエーション」	大阪YWCA本館	6/25	4
夏キャンプリーダートレーニング	服部緑地	6/26	3
春キャンプリーダートレーニング	大阪YWCA本館	3/5	8

※4/26 予定のリーダートレーニング「ボランティアって？」は参加者がいなかったために中止

(2) 小中学生のための異文化理解プログラム

◇主催事業 ハロハロワールドスクール

プログラム名	場所	集会日	人数
とびだせ!!ハロハロ探検隊 in 鶴橋 2016	鶴橋駅周辺	6/12	21
Where is she from ?	シャロン千里	11/6	21

◇リーダー会・ワーク

事業名	回数	人数
ミーティング・ワーク	28	158
リーダー会	1	5
下見	2	7

(3) 子どもミニスクール

*夏の子どもミニスクール 日程：7/28、29 参加者数：延 70 名

2. 子ども図書室事業

◇主催講座

行事名	集会日	延人数
春のおはなし会	5/20	34
ライブラリースクール	6/11, 25	69
夏休み子どもおはなし会	7/15	75
大人のためのクリスマスおはなし会	12/9	30
ミニおはなし会	2/28	22

◇プログラム

プログラム名	回数/年	延ボランティア数	延利用者数
ちゅうりっぷくらぶ	19	74	458

◇グループ活動

グループ名	回数/年	延人数
おはなしの部屋	7	111
ワークショップ	10	128
第一の会	9	135
第五の会	1	18

3. 子育て支援事業

(1) 千里

◇プログラム

プログラム名	回数/年	延ボランティア数	延利用者数
おやこひろば	41	115	769
おやこひろばオープンデイ	25	—	19
ママズカフェ	4	—	45

◇主催講座

講座名	集会日	場所	人数
真夏の夜のおはなし会	7/26	大阪YWCAシャロン千里	65
お母さんが笑顔でいられるための子育て講座	5/20	大阪YWCAシャロン千里	22

4. 外国人学生へのホームステイプログラム

◇ホストファミリー登録数 20 家庭

◇ニュースレター発行 2017年2月

*7/11 受け入れオリエンテーションを兼ねたホストファミリー交流会 参加者 11名

*専門学校日本語夏期集中コース(7/19~8/5)の学生6名(出身:台湾、中国)を5家庭で受入

*同コースのオブショナルプログラム(お好み焼きパーティー)と修了式(浴衣体験もあり)に協力

V. ボランティア養成事業

1. 梅田

◇行事

行事名	回数	延人数
クリスマス会	1	23
ミニバザー	2	49

◇傾聴ボランティア活動

活動名	回数/年	延人数	
		来店者	ボランティア
傾聴カフェラベンダー	28	来店者	120
		ボランティア	162
傾聴カフェラベンダー研修会	1	15	
コスモス	13	利用者	23
		ボランティア	14
訪問傾聴	15	利用者	15
		ボランティア	30

◇グループ活動

グループ名	回数	延人数	グループ名	回数	延人数
みのり会	9	61	スウスの会	10	59
英会話サロン	33	216	いのちを語る会	5	18
聖書を学ぶ会	11	105	絵手紙の会	8	22
あみあみカフェ	8	33			

2. 千里

◇行事

行事名	集会日	延人数
クリスマス会	12/13	70
ボランティア基本の「キ」	10/28	19
お楽しみ落語	11/2	95
文月会 感謝の集い	11/18	95
子どもの貧困を考える	3/25	31
東北に思いをはせる集い	3/13	50

◇趣味のグループ

グループ名	回数/年	延人数
生花を楽しむ会	11	135
水彩画	11	78

◇グループ活動

グループ名	回数/年	延人数	グループ名	回数/年	延人数
会館ボランティア	10	39	使用済み切手整理	11	120
聖書を読む会	10	129	清拭布ボランティア	11	84
合唱団	44	1,252	ブリジッツ	11	59
ハンドベルクワイア	43	556	文月会	12	110
サロン四季	9	56	アトリエ「創」	11	153
生花グループ	1	9			

3. ボランティアの受入れ

◇ボランティア説明

説明会(延人数)			個別説明	
回数	ボランティア希望	職員	回数	参加者
11	39	21	14	19
登録者数	33			

4. バザー実行委員会

◇協力企業・団体

味の素(株)、(株)アドワン、伊那食品工業(株)、乾卵栄養化学(株)、イワジン真珠(有)、エー・ビー・シー開発(株)、永和信用金庫、大阪教区教会婦人会連合、大木建設(株)、扇町同胞幼稚園、大阪YWCA 大宮保育園、大阪YWCA シャロン千里、大塚製薬(株)、(株)オニザキコーポレーション、(株)オフィスインテリア、(株)神川工務店、関西よつ葉連絡会、北野整骨院、国際ソロプチミスト大阪、日本基督教団希望ヶ丘教会、ギャップジャパン(株)、(株)共立メンテナンス、クールアンシャンテ、コスモ建物管理(株)、さちこ歯科、(株)三田屋本店やすらぎの郷、シェラトン都ホテル大阪、(株)ジュノインターナショナル、STUDIO A-sh、草楽園、大寅蒲鉾(株)、(株)大丸松坂屋百貨店、ダイワ食堂、大和ハウス工業(株)、大和証券(株)、つばくろ診療所、帝国ホテル大阪、デュプロ(株)、日本生命保険相互会社、(株)野木、ハウスウェルネスフーズ(株)、伯方塩業(株)、日本基督教団東梅田教会、(株)藤木工務店、プティック QUEQUE、松田商事(株)、マロニー(株)、山久食品(株)、山西福祉記念会館、(株)ユニマットライフ、揚子江ラーメン、リーガロイヤルホテル大阪、ワツコ(株)

5. 100周年記念実行委員会

(1) 旅行省委員会

集会名	日程	出席者延数
ヴォーリス建築探訪ツアー～豊郷小学校・近江八幡を訪ねて～	4/23	38
村田先生と行く！名残の若冲鑑賞ツアーin KYOTO	12/23	24

(2) 女性のリーダーシップ養成事業プロジェクト

集会名	回数もしくは日程	出席者延数
プロジェクト会議	5回	33
ガールズ&ビッグシスターズのためのリーダーシップ養成講座	3/29、30	18

VI. 広報

1. 機関紙

(1) 発行の概要

◇回数 7回(5月、7月、9月、11月、12・1月、3・4月、2月に特別号を発行)

◇部数 各2,000部、特別号3,000部

◇配布先 会員・会友、専門学校生・クラス生・講師、賛助会員・賛助会社、各市YWCA、関係団体、講座・集会参加者、大阪市内各女性センター、ワン・ワールド・フェスティバル参加者、他

◇サイズ 通常号A4版4ページ、特別号A3版裏表

◇広告協力会社 有限会社イースター式典社、株式会社一粒社ヴォーリス建築事務所、株式会社オフィスインテリア、株式会社藤木工務店

◇大阪YWCA機関紙編集 記事内容

発行月	特 集 内 容		
	1 面	2・3 面	4 面
5月号	「ひろば」という拠点 ～言葉を孤立させてはならない～ (藤原辰史/京都大学准教授)	ピースアクション2015 上野千鶴子講演会報告/ヴォーリズ建築探訪ツアー報告	定期会員集会報告/新役員紹介/100周年記念実行委員会発足紹介
7月号	報道の自由～重要性とその危機～ (田崎俊彦/弁護士)	参院選だ!選挙に行こう!/加盟YWCA中央委員会報告	社会福祉法人大阪YWCA・シャロン千里 新事業「青山台留守家庭児童育成室」紹介
9月号	参院選を終えて ～女性市民たちが、今後さらなる運動を続けていくために～ (岡野八代/同志社大学大学院教授)	ピースアクション2016 藤原辰史講演会報告/憲法カフェ報告	ビジネス日本語クラス紹介
11月号	子どもと生きる喜びを (西川日奈子/NPO法人西淀川子どもセンター代表理事)	「こころの発達を考える講座」紹介/被災者支援から始まる新たな形の連携	ガールズSST報告
12・1月号	自分らしく生きられる社会を目指して (村木真紀/NPO法人虹色ダイバーシティ代表)	クリスマスメッセージ/講座「よくわかる!電気のはなし」報告	ベトナム語セミナー報告/寄付控除案内
特別号	英雄たちへの応援歌 (浜 矩子/同志社大学大学院教授)	大阪YWCA100年の歩み 女性が切り拓いてきた100年、みんなで創っていく100年	
3・4月号	フクシマ6年目を迎えて ～原発被災者とコトバの力～ (津久井進/弁護士)	イースターメッセージ/地域で活動するYWCA会員	日本YWCA第32会全国会員総会報告

2. ホームページ関連

◇ホームページからの問い合わせ件数と内訳 (2016年4月1日～2017年3月31日)

ボランティア	講座・プログラム	物品寄付	その他	合計
64	88	20	22	194

会員・会友・賛助員・寄付・募金等

1. 会員・会友

◇2017年3月末会員数 303人 ◇2017年3月末会友数 6人

2. 賛助費

◇法人 5社

大阪商工会議所、(株)サンカラーシッピング、積水化学工業株式会社、(株)大丸松坂屋百貨店、ワツコ(株)

◇個人 119人

秋山陽彦、有井由紀子、有田悦子、家石貞子、井口和子、池田洋子、伊藤景子、伊藤美都子、井上道子、岩村明子、岩村友恵、上田賢博、打出啓二、宇都宮ゆかり、瓜生和子、江尻美穂子、越後靖子、大井千鶴子、大菅照代、大空美矢子、大野弘美、大森浩平、岡田幸乃、岡由紀子、奥野由里子、落合保子、片山純子、葛良久子、加輪上敏彦、川上光子、貴志慶子、岸田善三郎、北尾敦子、木下暁子、木村知津子、日下部眞知子、工藤昭子、國里順子、栗本丹志貴、黒田朋子、小池りつ子、小島志佐子、後藤ゆかり、木幡敦子、小林千重子、小林直子、西条哲、笹部真樹、佐藤朋子、澤井良子、沢田陽子、清水俊弘、ジャクティアニー富士子、少徳充子、鈴木豊子、関根久子、高木裕子、高田良子、滝根圭子、竹本良子、田中佐和子、田中義信、田中榮子、田中英子、田邊昌代、谷川毅、檀上忠子、辻朋宏、寺中裕子、都木直文、徳平真弓、豊島博子、中川佐知子、中島淑子、永谷恵子、中東洋子、中山ゆかり、新居恵理、西名貞子、西村美恵子、波田則子、端野昌彦、波多野康子、花岡千代美、濱田禎

子、久田昌子、平櫛圭甫、平佐たか子、藤井保男、藤原智子、藤原裕美子、船越あゆみ、榊居孝、松江訓子、松尾廸子、松下郁子、松下直代、松島紀代子、松田慶子、松田美代子、松永茅光、松本サナエ、松本弘道、水尚子、溝邊瑞穂、南憲明、峯村昌信、宮澤玲子、宗像千代子、村沢和恵、森口清子、安川実千代、安原みゆき、山崎久美子、山田章博、山東史子、吉田耕平、吉田佳代子、匿名1名

3. 寄付

◇個人（大阪YWCA会員含む）

相澤紀子、有井由紀子、有山加代子、有山龍作、入江勝美、家本陽一、乾恵美子、岩城万里子、氏原庸子、瓜生和子、大見川昭子、岡部順子、小澤裕子、片山淳子、勝美恵、河合由美子、北島正子、木下蘭子、金香百合、倉本節子、栗本丹志貴、小林よう子、笹部真樹、雀部真理、佐藤恵津子、沢田陽子、鹿野憲一、鹿野幸枝、穴戸百子、蔣建業、高野芙美子、高橋浩二、田口美智、竹村浩子、段林和江、辻加代、辻川さとみ、徳広彩、中越洋子、中山羊奈、西村由紀子、橋詰知子、早野美智子、原口早和子、広瀬圭子、深堀潤子、古山幸子、堀河昌子、榊居孝、水田和子、溝手伸子、宮澤玲子、宗像千代子、山地和家子、山田章博、山本孝志、横内いづみ、六人部逸子、和田逸美、匿名6名

◇団体

アトリエ創、(株)アドワン、生け花を楽しむ会一同、いこいの集い参加者一同、歌声サロン参加者一同、NCC-URM委員会、お楽しみ落語参加者一同、会館利用者一同、街頭募金参加者一同、カフェ「茶話茶話」参加者一同、大阪YWCA千里ガレージセール実行委員会、大阪YWCAクリスマスバザー実行委員会、ギャップジャパン、クリスマスミニセール実行委員会、グループキッチン一同、コスモ建物管理(株)、子育て支援委員会有志、子ども図書室一同、「子どもの貧困を考える」参加者一同、サロン四季、シックスポイント、水彩画を楽しむ会一同、ステップハウス委員会一同、清拭布ボランティア一同、聖書を読む会一同、千里クリスマス会席上献金、大阪YWCA千里バザー実行委員会一同、チャリティコンサート参加者有志、定期会員集会参加者一同、点字子ども図書室一同、東北に思いをはせる集い参加者一同、豊中千里ロータリークラブ、一般財団法人中山文甫会館、奈良中国帰国者支援交流会、日本基督教団扇町教会、日本基督教団大阪城北教会、日本基督教団大阪城北教会、日本基督教団北千里教会、日本基督教団希望ヶ丘教会、日本基督教団甲東教会エリコの会、日本基督教団豊中教会、日本基督教団浪花教会婦人会、日本基督教団南住吉教会、日本基督教団都島教会、公益財団法人日本YWCA、俳句受講生一同、配食サービス一同、阪急阪神ホールディングス、ファンレイジング委員会一同、ファンレイジング支援者一同、文月会、ブリッジズ、古切手整理ボランティア一同、榊居伸子さんを偲ぶ会参加者一同、YWCA千里合唱団、YWCA千里ハンドベルクワイヤ、ワツコ(株)

4. 募金

◇募金者一覧

赤松久子、秋山佳子、浅井千賀、朝岡千晶、朝川晃子、荒木慧子、栗津純子、生花を楽しむ会一同、池本勝俊、居酒屋三平、今井美令、今城啓子、井本米子、岩本たみ、上田由美子、梅田会員部委員会一同、大岡真知子、大杉美那子、大西美紀・美代子、大原千恵子、大見川昭子、大阪YWCA大宮保育園、小笠原京子、片山淳子、勝美恵、加藤久富、川勝宏子、川上悦子、川崎明恵、川崎仁子、神先素美、岸田晃子、木下暁子、木下和江、金香百合、葛良清子、久保京子、栗原俊子、グループパレット一同、コールセンリ、後藤麻衣、こども部委員会一同、近藤国子、斎藤佳子、坂上信子、阪中雅博、坂本富子、櫻井愛子、笹部昌子、佐藤恵津子、穴戸百子、奨学金委員会委員一同、職員一同、白井邦子、白川啓子、末吉佳世子、雀部真理、Stand by you 参加者一同、砂子興一郎、千里委員会一同、千里クリスマス会席上献金、千里子ども図書室、高野芙美子、瀧本政子、田中亜子、田中洋子、谷恵美子、谷川いづみ、辻加代、辻川さとみ、寺中裕子、都木恵子、永井淑子、西坂恵美、西村元延、西村由紀子、二谷世津子、日本基督教団核問題連絡会、俳句講座受講生一同、橋本智香子、原紀子、パレスチナグループ、被災者支援担当、平野信江、広瀬圭子、藤岡美智子、ブリッジズ、古山幸子、文楽観劇会参加者一同、平和環境部委員会一同、帆足文子、堀河昌子、本田芳子、待井瑞季、前川契子、溝手伸子、宮崎祐、村上和子、村松通子、李國子、森垣房子、山川文子、山口裕子、山地和家子、山本宣子、横内いづみ、吉田くすほみ、リーディンググループほれほれ、匿名2名

◇募金達成状況 (2017/3/31 現在)

	目標額	達成額		目標額	達成額
梅田	200,000	188,127	千里	450,000	479,181
パレット	100,000	104,700	奨学金	50,000	35,300
女性	200,000	242,642	フェンドレイジング	80,000	240,812
平和・環境	100,000	103,903	職員	60,000	61,049
こども部	80,000	74,500	評議員・理事会	60,000	67,000
東日本支援	120,000	169,153			
			合計	1,500,000	1,766,367

5. 補助金・助成金(順不同)

助成団体	金額(円)	受入れ先
公益財団法人 みずほ福祉助成財団	450,000	点字子ども図書室
公益財団法人 俱進会	700,000	東日本大震災被災者支援事業
公益財団法人 俱進会	700,000	ガールズSST
独立行政法人 国立青少年教育振興機構	405,000	子どもと子どもの本の講座 夏の子どもミニスクール
社会福祉法人 大阪府共同募金会	125,860	ステップハウス委員会
吹田市社会福祉協議会	45,000	点字子ども図書室
公益財団法人 日本YWCA	500,000	東日本大震災被災者支援事業
夕陽丘基金運営委員会	100,000	ステップハウス委員会

会議等

1. 評議員会

◇評議員 任期2015年6月13日～2019年6月12日

秋山佳子、朝川晃子、太田麗子、勝美恵、川崎知子、雀部真理、辻川さとみ、所佳子、西村由紀子、
平井佐津紀、広瀬圭子、深堀潤子、帆足文子、村松通子、横内いづみ、渡邊成子

◇評議員会の開催

回	開催日	議案
1	2016年6月18日	第1号議案 2015年度事業報告 第2号議案 2015年度決算報告及び監査報告 第3号議案 2016年度4月～5月事業報告 諸報告
2	2017年3月4日	第1号議案 2017年度事業計画案 第2号議案 2017年度予算案、 2017年度資金計画及び設備投資の見込みについて 諸報告

2. 理事会

◇理事・監事 任期2015年6月13日～2017年6月12日

代表理事：鹿野幸枝 理事：小澤裕子、片山淳子、谷川いづみ、辻加代、堀河昌子
常務理事：中山羊奈 業務執行理事：田中啓子、山下つねよ
監事：坂上信子、三木秀夫

◇理事会の開催

回	開催日	議案
1	2016年5月26日	第1号議案 2015年度事業報告 第2号議案 2015年度決算報告 第3号議案 2016年度4～5月事業報告 第4号議案 2016年度第1回評議員会の開催について 第5号議案 新規事業について 第6号議案 夏季賞与について
2	2016年6月23日	第1号議案 2015年度定期提出書類について 第2号議案 2階トイレの改修工事について 第3号議案 新規事業について
3	2016年10月20日	第1号議案 上半期決算及び下半期見通しによる決算見直しについて 第2号議案 100周年記念事業、新規事業について 第3号議案 事業報告 その他 (1) 職員採用について (2) 榊居伸子さんを偲ぶ会について
4	2017年2月9日	第1号議案 2017年度事業計画について 第2号議案 2017年度予算、資金計画及び設備投資の見込みについて 第3号議案 2017年度人事について 第4号議案 2016年度第2回評議員会の開催について 第5号議案 100周年記念新規事業について 第6号議案 学則変更について 第7号議案 事業報告

◇榊居伸子さんを偲ぶ会 日時：2016年11月24日（木） 会場：東梅田教会 参加者：31名

3. 職員・専任講師

◇職員

総幹事 中山羊奈

幹事 山下つねよ、白川（田中）啓子、川崎（三國谷）仁子、吉本沙矢香、木下和江、坂東暁子、

幹事補 中村友美、川野啓、藤田実余子、吉田真記（～8/31）、鎌田直子（～10/31）、牛江真由子（7/13～）、
桑原静枝（11/1～）、原田千尋（11/1～）、池田操（1/1～）

非常勤 藤原裕美子、坂東摩波、岩井一枝、五十嵐裕、田中直美、松下宜代、小野美也子、金子蘭、
堀奈央美、真野真琴、山本いち子、小村龍男、黒須史江

◇職員会 21回

◇専任講師 専任講師：氏原庸子、清島千春、佐伯玲子 準専任講師：福嶌香理

◇専任講師会 4回

4. 設置委員会等

ボランティア・社会貢献活動運営委員会、平和・環境部委員会、ステップハウス委員会、こども部委員会、グループパレット委員会、ホームステイプロジェクト、梅田会員部委員会、千里委員会、会員委員会、千里子育て支援委員会、千里ボランティア委員会、大阪版編集委員会、広報部委員会、奨学金委員会、ボランティア担当、ファンドレイジング委員会、クリスマスバザー実行委員会、100周年記念実行委員会、年史小委員会、イベント小委員会、旅行小委員会、若い女性のリーダーシップ養成事業プロジェクト、東日本大震災被災者支援担当、人事委員会、財務委員会、指名委員会

施設維持・不動産管理

◇会館整備

- *2階トイレ 改修
- *2階201C教室 冷暖房機取替え
- *2階201教室 床・壁改修

収益事業

社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会の経営する大宮保育園に対して、本財団の大宮町の土地・建物を貸与。また、同じく同福祉会の事務業務の一部を受託した。

世界YWCA、日本YWCA、他市YWCA関係

内 容	日 程	参加者数	内、大阪YWCA
3市Y交流会	1/14	34	2
YM/YW合同祈祷週集会	11/17	78	5
加盟YWCA会長会	5/20	35	1
加盟YWCA中央委員会	5/21～22	76	5
日韓カンファレンス	8/21～24	40	1
日本YWCA新職員研修	5/7～9	23	4
日本YWCA新幹事研修	10/13～16	12	1
日本YWCA職員研修ステップⅡ	1/18～20	8	1
日本YWCA全国会員総会	11/19～20	約180	17
総幹事会	5/23、1/8～9	26	2
代表幹事会	4/20、6/17、9/26、12/12	27	4

*日本YWCA理事、財政・会館事業部会、建物管理部会：鹿野幸枝

*日本YWCA評議員、人事委員会：谷川いづみ

*日本YWCA運営委員：津戸真弓、松原恵美子

*代表幹事：中山羊奈

外部関係団体

(一財) 大阪市青少年活動協会、(一財) 大阪府青少年活動財団、青少年育成大阪府民会議、大阪府キャンプ協会、(公財) 大阪ユースホステル協会、(公財) 大阪ボーイスカウト振興協会、社会を明るくする運動実行委員会、NPO 法人関西国際交流団体協議会、(公財) 大阪国際交流センター、(公財) 大阪府国際交流財団、大阪地域留学生等交流推進協議会、大阪府男女共同参画推進連絡会議、大阪市女性会議、大阪市企業人権推進協議会、(社福) 関西いのちの電話、大阪商工会議所、NPO 法人いくの学園、大阪市 DV 施策ネットワーク会議、大阪府 DV 施策ネットワーク会議、DV 被害者支援ネットワーク近畿、NPO 法人全国女性シェルターネット、国際女性年大阪連絡会、(特活) 関西 NGO 協議会、日本基督教団大阪教区核問題特別委員会、大阪キリスト教連合会、大阪キリスト教婦人連合会、NCC 都市農村宣教委員会、(一財) 日本語教育振興協会、全国専門学校各種学校日語教育協会、全国専門学校各種学校連合会、大阪府専修学校各種学校連合会、(一財) 中山文甫会館、国連ウィメン日本協会大阪、認定 NPO 法人大阪被害者支援アドボカシーセンター、(社福) 大阪キリスト教女子青年福祉会